

気候変動と適応策

～最新の科学的知見と岩手県の暮らしや産業～

滝沢市 チャグチャグ馬コ

日時：令和4年**12月3日（土）**

14：00～16：00（開場13:30）

場所：岩手県自治会館 第一会議室

〒020-8510 岩手県盛岡市山王町4-1

定員：56名 オンライン：100名（Zoom）

申込先：盛岡地方気象台（〆切11月30日）

Eメール:kouenkai_morioka@met.kishou.go.jp

- ・入場無料
- ・事前申込制
- ・先着順

講演 1

気候変動の観測事実と将来予測 ～IPCC第6次評価報告書を含む最新の知見～

ト部 佑介 氏（仙台管区気象台気象防災部
地球環境・海洋課 地球温暖化情報官）

講演 2

岩手県の気候変動の影響と適応策について

晴山 久美子 氏（岩手県環境生活部環境生活企画室 主査）

主催：日本気象学会東北支部 共催：盛岡地方気象台
後援：岩手県・盛岡市・岩手大学・日本気象協会東北支社
日本気象予報士会東北支部・地球ウォッチャーズ-気象友の会-

問い合わせ先 2022年度日本気象学会東北支部気象講演会事務局（盛岡地方気象台内）
Tel 019-622-7870 Eメール:kouenkai_morioka@met.kishou.go.jp

講演概要

昨年から今年にかけてIPCC第6次評価報告書（AR6）が公開されたことから、あらためて気候変動に関する最新の科学的知見を確認する。特に第1作業部会の気候システム及び気候変動の自然科学的根拠について前回との違いを学習する。さらに、地球温暖化が岩手県の暮らしや産業等にどう影響し、いかに適応していくか、現在の状況や対応策について紹介する。

講演1 気候変動の観測事実と将来予測 ～IPCC第6次評価報告書を含む最新の知見～



うらべ ゆうすけ

講師：ト部 佑介氏

仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 地球温暖化情報官

要旨

気候変動の進行に伴って気温が上昇し、大雨の頻度、強度が増大しています。これは、経験のない災害が起きるリスクが高まっていることを意味します。

この点に注目して、IPCC第6次評価報告書や気象庁が公表している情報から、気候変動について「いま起きていること」「これから起きること」を示し、適応策の一つとして、最新の情報を活用した防災対策の重要性についてお伝えします。

講演2 岩手県の気候変動の影響と適応策について



はれやま くみこ

講師：晴山 久美子氏

岩手県環境生活部環境生活企画室 主査

要旨

世界中で地球温暖化による様々な気候の変化が生じてきている中、岩手県においても年平均気温の上昇や、夏日の増加、冬日の減少、海面水温の上昇等が確認されています。それに伴い、主力魚種のサケやサンマ等の漁獲量の減少や熱中症のリスクが上がる等、県民生活や事業活動にも影響が現れています。

今後避けられない気候の変化に対し、気候変動の影響に対処し被害を軽減する、気候変動への「適応」が今後ますます重要になってきています。私たちは、気候変動に対し、どのように備え対処していったらよいのでしょうか。岩手県の気候の現状や今後の将来予測を踏まえ、岩手県の適応策を紹介します。